



自ら掴む経営エッセンス！

(記事：いどばた稲毛) 渡部成夫 過去記事も読めます⇒<http://idoina.com>

2/19 (火)

テーマ：『倫理に学ぶ経営』

出席17社17名
(美浜16、他会1、非会員0)

講師：(社)倫理研究所 参事 塩貝 博 氏



Hiroshi Shiogai

13歳で東京大空襲に遭った塩貝氏は、命がけの努力で道を開き、願いを叶えている。

70億の借金を完済。3度の癌が完治。

塩貝氏は昭和6年生まれ、現在76歳。「青春の真っ只中。参事として大変愉快に、月平均13回、講話で全国を回っている。21歳で開業した資源回収業の塩貝商店は創業55年、社員70名の会社に成長し、後継者に無事託せた。何の心配もない。自分の夢はもう半分叶っている」と話す。

倫理入会は平成5年、バブル崩壊によって70億円の借金を抱え、どうすれば倒産しないで済ませられるか、藁をも掴む思いで東京都北区倫理法人会に入会。またストレスから3度癌になった。

だが、今では借金は全て返済し、癌も完治している。塩貝氏は一体何を実践したのだろうか。そのエッセンスを10項目で、紹介してくれた。

倫理に学ぶ経営 10のポイント(のうち、一部を紹介)

1. 倫理は実践でしかわからない

唱道の人多けれど、行道の人少なし・・・「こうやったらいいよ」と勧める人は多いが、実際にそれを自分で行なう人は少ない。特に後輩の育成では、口で言うだけでなく、始めと終わりの締めくくらは行動で示すことが大事だ。

漏船に伏し、焼屋に座す・・・常に穴の空いた船に伏し、焼けていく部屋の中にいるかのように、気を引き締めること。そして大変な状況が当たり前、

自分が勝手に選んだ道なのだから、こんなに幸せなことはない。そう受け止めよう。

2. 苦難福門 苦難は改良・改革のチャンス

苦難がなければ、チャンスもない。苦難が来たら、「よーし苦難が来た。これを生かそう」という気持ちで、先が見えなくても「解決できる」と口にすることが大事。

3. 社会貢献 平凡なことを非凡に続ける

積小為大・・・大きな事を成すには小さなことの積み重ねが必要だ。塩貝氏は、トイレ掃除と駅前清掃を約5200日続けている。平凡なことを非凡に続けるのが、大を為す秘訣で、それは何年も必要ない。3月、半年で、自分の周りが変わってくる。成果が出なければ、それは真剣さが足りないのだ。

微差僅差 続けて絶対差・・・僅かの差でも、続けていくと絶対差に変わる。

4. 諦めないこと

箸良く盤水を回す・・・たらいの水を箸で回すことができるだろうか。100回続ければ回る。大事なものは、諦めないことと周りの協力を感謝することだ。

5. 「多大な努力で小さな成果」でも評価

努力しているのに成果が出ない社員がいる。でも、評価してあげるように心がけよう。そして声に出して、褒めてあげよう。そうすれば社員皆がやる気が出る。逆に、成果主義になりすぎると、努力する人が去ってしまう。

6. 不思議な好結果 朝から全開

願はかけるもので、「そんなことあるのかね？」というくらい不思議な好結果がしょっちゅう起きる。まるで、アラジンの魔法のランプだ。やれば必ずできる。自分の志と、それを信じる気持ちの強さ次第だ。

「命がけで努力し、気持ちを落ち着かせていれば、道は開け、成功者になれる」。

次回 第866回MS! 2/26 (火) 6時~7時+朝食会 ホテルニューオータニ幕張 (043-297-7777)

テーマ：『「気づき」日々好日』

講師：白井市倫理法人会 専任幹事 駒村 武夫 氏

できるできるやればできる！
明るく楽しくなければ倫理じゃない！
・会員120社・MS30名以上・美浜を美しく